

平成 29 年度第 2 回プラネタリウム館運営協議会会議録（概要）

1. 開催日時 平成 30 年 3 月 7 日（水）午後 3 時 30 分から 4 時 45 分まで
2. 開催場所 文化センター2 階研修室
3. 出席者 委員 森委員長、松上副委員長、森下委員、多賀委員、野崎委員、赤瀬委員
事務局 井上教育長（挨拶のみ）、山本文化課長、長谷川副主幹、岸下主査補
4. 傍聴者 2 名
5. 議題 ①平成 29 年度事業実施状況について（公 開）
②平成 30 年度事業計（公 開）
③その他（公 開）
6. 配布資料 資料① 平成 29 年度事業実施状況
資料② 平成 30 年度 事業計画（案）
資料③ 平成 30 年度 プラネタリウム日程（案）
7. 会議での確認・承認事項
①平成 29 年度事業実施状況について確認
②平成 30 年度プラネタリウム事業内容についての承認
8. 議 事 以下のとおり

	<p style="text-align: center;">教育長、会長及び課長挨拶の後、事務局より、資料①に沿って、平成 29 年度投映事業実施状況の報告を行う</p>
事務局	<p>天文現象の少ない年であったが、「地球・月・太陽」のテーマのもと、計画に沿って順調に事業を行ってきた。「歌声プラネタリウム」は好評であったので、今年度あと 1 回追加した。謝礼金の残はないので、ゆうはるさんには謝礼品（ブランデーケーキ）と昼食で 2 回目の出演をうけていただいた。「熟睡プラネタリウム」は、今回初めて勤労感謝の日のお昼寝タイム 13 時 30 分に行った。以前は夕方に行っていたが、今回の方が来観者数が増え好評であった。</p>
●●委員	<p>「星空とともに」とは東日本大震災の番組か？</p>
事務局	<p>仙台市天文台が制作したもの。音源と画像を仙台から提供してもらい、当館の投映機に合わせてプログラミングした。白井では毎年 3 月に投映している。今年は全国で約 30 館が投映している。千葉県では白井のみ。東京では野崎委員の東大和と他に 2 館が投映する。</p>

●●委員	実は、今日ここに来る前、午前中に「星空とともに」を中学生に投映してきました。震災当時小学2年生だったというので、私たちが感じた大変さ、思いは無い様だったが、感想を読むととても良いことを書いていた。
事務局	中学生にも見て欲しい番組である。
●●委員	ライブコンサートの観覧料が違うのはなぜか。
事務局	支払う報償費によって異なる。また、演奏者がプロかアマチュアか等によって変わる。教育委員会会議に諮って決めている。
●●委員	熟睡プラネタリウムの客層はどんな人か。やはり寝にきているのか？
事務局	大人も子どももそれぞれ。お客は寝ていない様子。今年は昼席には親子1組入った。今回の解説は全てテロップで流すという趣向。手間はかかったが、再利用できるので、機会があれば、また使いたい。
●●委員	ひよこプラネタリウムは水曜日と土曜日で客層は違うのか
事務局	土曜日は父親や祖父母も一緒が多いが、水曜日は、母親のみが多い。
●●委員	今年は本庁が改築のため、議会が文化センターに移動した関係で文化祭を文化センターで行わなかったが、来観者数に影響はでたのか。
事務局	文化祭のときの来客数が減ったが、全体では議会の影響は出ていない。プラネタリウムに幼児投映や学習投映の幼児児童生徒が来館しているところを議員さんたちに見てもらえてよかった。来館者全体では、悪天候により星見会の人数は減ったが、全体で、ほぼ変わっていない。歳入は増えている。
●●委員	他に質問、意見はないか。では、平成29年度投映外事業の説明をお願いします。
事務局	事務局より、資料①に沿って、 <u>平成29年度投映外事業実施状況の報告</u> を行う。 先ほども話したが、悪天候により、昼の星見会が中止になることが多かった。その時間は、ボランティアさんに、望遠鏡やレンズのメンテナンスをしてもらった。今回初めて、「中3学習投映・過去問を解く」を行ったが、多くの中学生が見に来てくれた。次回は学習塾等にもチラシを配ろうと思う。

●●委員	来館 12 回記念では、何かもらえるのか。
事務局	開館当初は、10 万人記念ということで、花束を渡していたが、たまたま居合わせた 1 人お客様より、いつもいらしているリピーターさんに何かプレゼントしたほうが良いということで、6 回来館したら、次回の投映が無料、12 回来たら、キーホルダーや鉛筆のようなささやかなプレゼントを渡している。
●●委員	12 回来たとどうしてわかるのか。
事務局	スタンプカードを渡している。来館者の 3 分の 1 は新しい人。3 分の 2 がリピーター。
●●委員	他に意見、質問はないか。 では、平成 30 年度事業計画案の投映事業までについて、説明をお願いします。
事務局	<p>事務局より、資料②に沿って、平成 30 年度投映事業計画案について説明を行う</p> <p>今年は、2003 年に次ぐ火星の大接近の年なので、前回の経験を踏まえ、観望会や講座等で火星に対応していく。 また、クラウドファンディングで、望遠鏡写真撮影システムの購入にチャレンジする。 市の全体方針として一般投映の大人料金が値上げとなる。投映回数や、事業費、人件費などを書式に沿って計算式にいれ、算出した金額である。子ども料金は中学生までだったものを、来館数が少ない高校生に足を運んでもらいたいということで、高校生以下も子ども料金にした。</p>
●●委員	新システムでクラウドファンディングの寄付者に、希望天体の写真を送るとあるが、撮影はいつやるのか。天文同好会はどのようにかわるのか。システムのレクチャー等あるのか。
事務局	クラウドファンディング用の写真撮影は職員が対応する予定。星見会の時にうまく希望天体があれば、その時に撮影することがあるかもしれない。システムについては天文同好会のメンバーにも順次覚えてもらうことになるが、まだ、金額が集まるかどうか分からない状態。成功した時には、是非天文同好会も協力をお願いします。

●●委員	来年度のテーマは「赤い星、青い星」だが、白井は名前があまり知られていないので「白」で街を宣伝すると新聞で読んだ。プラネタリウムもテーマに「白い星」を入れたらどうか。
事務局	そのようにする。
●●委員	一般投映料金だが、市内料金 280 円を計算が簡単な 300 円にできないか。
事務局	市内、市外との兼ね合い見ながら、色々と計算して出した金額である。市外の大人 2 人子ども 2 人と家族構成を考えた時、4 人で 1,000 円は超えなくなかった。来館者の半分は市外だが、料金をあげることにより、来観者数が減るのは避けたかった。また、この後、消費税 10% の値上げも考えられる。
●●委員	高校生以下という括りの料金設定はとても良い。
事務局	駐輪場の料金設定が、高校生以下とあり、それに合わせた。
●●委員	東大和では、高校生が大人料金になり、足が遠のく例があったので、良いと思う。
●●委員	星の色についての番組作りをしていくようだが、星見会も連動して星の色について勉強していきたい。星を見る会のお客様に対応する際にも必要であるので、資料等をボランティアにもまわして欲しい。
事務局	天文講座等で資料を作成するので、ボランティアにもその資料をまわす。
●●委員	平成 30 年度投映事業案までで意見、質問はあるか。では投映外事業の説明をお願いします。
事務局	事務局より、資料②に沿って、 <u>平成 30 年度投映外事業計画案</u> について説明を行う
事務局	火星大接近のため気合をいれて観望会を行う。火星の見える時間が遅いため、観望会も 8 時スタートと遅めになる。講座のテーマは先ほどご意見があったので「赤い星、青い星、白い星」とする。
●●委員	「赤い星」が火星だとわかった。色が多いとぶれないか。テーマは「赤い星、青い星」までとし「そしてあなたは白井の星」としてはどうか。

事務局	参考にする。
●●委員	「はやぶさ2」については何もやらないのか。
事務局	はやぶさが、タッチダウンを予定している夏以降、9月のプラチナアワーや番組内でそのつど話していく予定。まずは、サンプル回収が成功するのを待つ。白井は生解説であるので、タイムリーに投映の中に入れていく。
●●委員	ドーム内の飲食はできないか。
事務局	できない
●●委員	熟睡プラネやお花見プラネで何か飲食ができたらと思ったのだが。 また、高校生が少ないという話だが、高校生は、デートでプラネタリウムを使うので、2階の喫茶とセットにするとよい。 大人には、ドームでお見合いプラネを行うのはどうか。くじで誰が隣の席に座るか決めたり。
●●委員	市で婚活イベントなどはしていないのか。
事務局	コミュニティセンターでお見合いパーティーのイベントをしているので、プラネタリウムと共同でなにかできないか話してみる。
●●委員	火星接近では、ボランティアも大変だと思うがよろしくお願いしたい。
●●委員	前回の火星大接近の星見会では300人近く人が来た。
●●委員	これだけ観望会を行えば大丈夫だろう。しかし、何回も観望会に予約を入れる人もいるのではないか。
事務局	観望会は当日受付で、予約はなし。また、前回ドームを使わず無料であったが、今回は「星見会」としてドームを使い、解説も行うため有料とした。
●●委員	平成30年度投映外事業案について意見、質問はあるか。では、その他の議案について願います。
事務局	ご意見を伺いたい。先日 JAF から窓口でのカード提示で投映料金の割引が

	できないか問い合わせがあった。今は10円でも多く入館料をとって欲しいとの意見もあるが、JAFと協力することで関東一円に配布される割引施設一覧の冊子に、広告料なしでプラネタリウムが掲載されるメリットがある。もし、割引を行うのなら、団体料金を適用することを考えている。
●●委員	適用は、無制限にするのか。1枚で何人までとか決めたほうが良い。
事務局	そうする。また割引者には、スタンプカードは押さないことにする。
●●委員	他にないか
事務局	クラウドファンディングの寄付者への返礼について意見はないか。
●●委員	寄付金の上限が上回った場合はどうなるのか。
事務局	そのまま上限を上げていき、ランクの高い機種の購入に変更することができる。しかし、金額が集まらなかった場合はすべて流れてしまう。
●●委員	手数料10万というのはなぜか。
事務局	クラウドファンディングをどの会社を使って行うかで手数料が変わるのだが、寄付額の20パーセントを上限と決めた額である。
●●委員	返礼に投映無料券とあるが、使用者は大人でも子どもでも良いのか。
事務局	良い。使う人に任せる。
●●委員	1000円の寄付だと500人が必要。写真撮影は、返礼の手間が大変ではないか。
事務局	額の大きい寄付を願うしかないが、職員で対応する。
●●委員	他にないか。 では、これで平成29年度第2回プラネタリウム運営協議会を終了とする。
	以上